

イノベーションを牽引する 工学教育の国際化

第63回年次大会シンポジウム
平成27年9月4日(金) 13:00~15:00

日本工学教育協会
九州工学教育協会

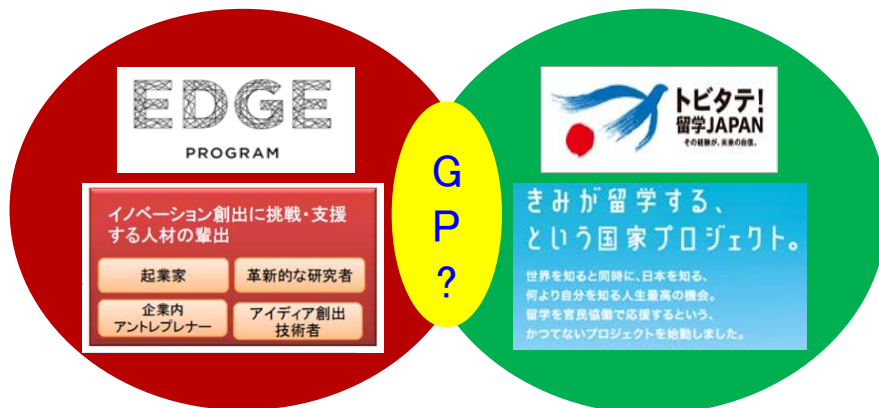
イノベーションを牽引する工学教育の国際化^[2]

- 21世紀の日本
 - 工学による多くの問題解決
 - 国際的にはアジアの中の先進国として新興国が抱える諸問題の解決を支援する役割
 - 我国の若者の理科離れや内向き志向の傾向
- 問題解決のためのイノベーションを牽引できる、また国際的に活躍できる人材の育成をどう行うか
 - アントレプレナーシップ(起業家精神)の涵養
 - スタートアップを育成する仕組み(エコシステム)の構築
 - 日本人学生と外国人留学生が切磋琢磨

シンポジウムの狙い^[3]

イノベーション(I)人材

グローバル(G)人材



問題解決のためのイノベーションを牽引できる、
また国際的に活躍できる人材の育成をどう行うか

Good Practiceの紹介^[4]

	パネラー	I人材	G人材	キーワード
13:10-13:25	アシル アハメッド (九州大学大学院 システム情報科学研究院)	○	○	・最先端ICT ・新興国支援(ソーシャルビジネス)
13:25-13:40	田中 孝典 (大分工業高等専門学校)	△	○	・高専生 ・開発途上国支援(足踏みシンボランティア活動)
13:40-13:55	高崎 講二 (九州大学大学院 総合理工学研究院)	△	○	・修士課程での留学 ・ドイツの工学教育 ・欧州との共同研究
13:55-14:10	古田 弘幸 (九州大学大学院 工学研究院)	○	○	・博士5年一貫教育 ・リーディング大学院
14:10-14:25	田村 大 (株)RE:PUBLIC)	○	△	・東京大学i.school ・シリアル・イノベーター ・市民発イノベーション

パネルディスカッション

[5]

■ テーマ

- **1人材&G人材の育成のために、工学教育はどう変わるべきか？**
- どのような工学教育制度の社会実装が必要か？

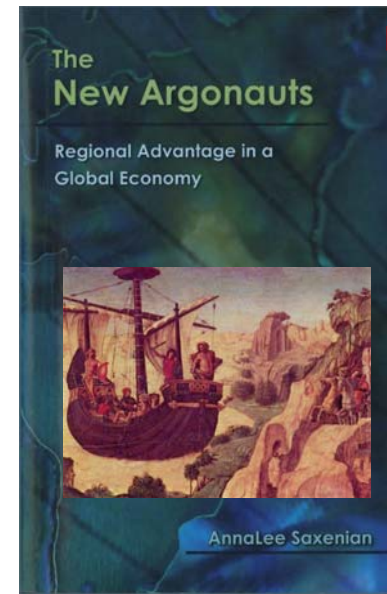
■ 論点

- **何のため**(新興国の支援、・・・)
- **何が必要**(マインドセット、エコシステム、・・・)
- **言葉の壁**(日本人学生と外国人留学生の協働、・・・)
- **高等教育**(問題設定・問題解決能力、・・・)
- その他

entrepreneurship ← entreprendre (inter/take)

シリコンバレー(SV)のダイナミクス

[6]



■ 頭脳循環

21世紀のイノベーションは、シリコンバレーを核とした分散的かつ補完的なグローバルネットワークの中から「ニュー・アルゴノーツ」(米国で高等教育を受けた**外国生まれの起業家**)によって生み出されてきた

- **先進国による新興国を対象とした人材育成戦略**

参考: 工学分野のイノベーションを牽引するエコシステムの社会実装, 工学教育, 63-1

イノベーション(I)人材の育成

[7]

シリコンバレーのベンチャーキャピタリストによる提言
日本と日本企業を元気にする7つの法則

Anis Wazzaman 講演会
日時: 2014年6月17日(水) / 13:00~14:30
会場: 九州大学伊藤ホール2階 国際会議室
URL: http://www.izumi-center.jp/lecture/

■ 起業家精神の涵養

- **大企業志向** (米国では優秀な学生ほど見向きもしない?)
- **内向き志向** (あなたが優秀ならばなぜSVにこないのか?)

■ エコシステム(生態系)



- **深刻問題の解決に投資**

<https://youtu.be/Uj1h3Wi5KU>

グローバル(G)人材の育成

[8]

英語化は愚民化
日本の国力が地に落ちる
施 光恒
Se Teruhisa

激石、諭吉も呆れた
明治の英語公用語化論の再来。
英語化政策で自ら「植民地」に!
絶賛! 藤原正彦氏(伊藤) 水野和夫氏(九州大) 中野剛志氏(伊藤)

■ G30からSGUへ



- **少子化・理科離れ(優秀な外国人学生の確保)**
- **英語授業(日本人学生になぜ英語で教えるのか?)**

■ 目指すべき国際貢献と秩序

- **翻訳と土着化の手助けを**
- **棲分け型多文化共生世界**